

JAえんゆう広報誌

ひざし

2017 **1**

.....
No. 215

謹賀新年

今月の主な記事

- ◎新年のご挨拶
えんゆう農業協同組合
代表理事組合長 中川 菊夫…… 2
網走農業改良普及センター遠軽支所
支所長 氏家 俊典…… 4
北海道農業協同組合中央会
会長 飛田 稔章…… 5
JAえんゆう青年部
部長 志鎌 英敏
JAえんゆう女性部
部長 新国 妙子…… 6
- ◎一日皆貯金当選者発表…………… 7
- ◎平成28年度秋季農事部懇談会
◎秋季農事部懇談会の主な意見・要望…… 8
- ◎秋季農事部懇談会出席者…………… 9
- ◎JA上湧別地区女性部研修会
◎女性部フレッシュミズ合同研修会
◎フレッシュミズ一泊研修…………… 10
- ◎全道JA青年部大会
◎青年部酪農専門部視察研修…………… 11
- ◎上湧別玉葱振興会青年部勉強会
◎第4回ライフアイゼンの農村信用組合… 12
- ◎JAグループ通信…………… 13
- ◎JA北海道大会実践フォーラム…………… 14
- ◎平成29年度 営農計画書作成協議日程… 16



今月号の「いもたま作造くん」はお休みさせていただきます。

「クロスワードパズル」「当選者発表」「読者の声」は休載させていただきます。

組合長新年のご挨拶

えんゆう農業協同組合 代表理事組合長 中川 菊夫



組合員の皆様におかれましては、つつがなく平成二十九年の輝かしい新年を、ご家族の皆様とともに壮健にて迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

昨年の当地域は三月下旬から四月初旬にかけて一挙に融雪となりましたが、その後の天候不順もあり播種・移植・収穫作業に大きな影響を残すこととなりました。八月にはお盆明けより、相次いで台風が北海道に上陸し、勢力を保ったまま十勝から北海道の中心を舐めるように通過し道内に甚大な被害をもたらしました。

幸いにも当地は、一部の河川の氾濫により表土流出等被害があったものの、ほとんどは大雨による湿害にとどまりました。この事により秋の管理、収穫作業には大変ご苦労されたことと思います。この場を借りまして心よりお見舞い申し上げます。

昨年は、四月に農協法の改正があり、中央会制度は廃止され、全中の監査は公認会計士、又は監査法人による会計監査の選択制となりました。この他にも協同組合の株式会社化、准組合員の利用規制について言及しています。更に十一月には、規制改

革推進会議（農業ワーキングG）により全農改革、信用事業の譲渡、クミカンの廃止、指定生乳生産者団体制度の見直しと不可解な改革が提案されました。農協系統として全国組合長会による度重なる中央要請など政府与党に理解をもとめ、この提案は概ね押し返すことができました。しかしそれも束の間、十二月には国会において拙速とも思えるTPP協定の批准決議が成立しました。米国新大統領は、TPP脱退宣言していることから、この協定は漂流することが確実とみられていますが、欧州

謹賀新年

平成29年 元旦

えんゆう農業協同組合

代表理事組合長	中川 菊夫
代表理事専務	菅井 誠
理事	菅内 秀幸
"	関口 哲治
"	阿部 和彦
"	八巻 武則
"	久須田 栄治
"	岡和田 博
"	横尾 俊雄
"	高橋 敬貴
"	古関 則一

とのEPAの動き、米国とのFTA交渉への潮流の変化を考える時、今後も緊張感を以て注視していかなければなりません。

国内景気に目を移しますと、緩やかな回復基調に転じており、個人消費も堅調に推移し、政府は一步進めた景気判断を示しています。国内総生産（GDP）成長率についても実質で1.5%程度とし見込みより高い成長率が予想されています。国内企業についても、政府の国内対策が下支えとなつて設備投資が回復し経済対策が効果を発揮しているとみえています。

今月の米国政権交代をはじめとして世界経済には懸念される不透明な材料も多いわけですが、所得・雇用環境の好転により、昨年にも増して景況感のある一年となることを期待します。

さて、比較的雪解けが早かつた昨年ですが、春播き小麦の収穫を終えた後、状況は一変、八月の台風と天候不順等による湿害等の影響を受け、玉葱については収穫の遅れから肥大化を招き一部は腐敗が発生しましたが、玉葱収量総体ではは平年作となりました。甜菜においては、糖分量の低下、湿害による収量減と農業共済金の対象となる圃場が続出、馬鈴薯・シソ・南瓜、デントコーン・牧草等の収穫にあつても、質・量ともに少なからず湿害の影響を受ける結果となりました。しかし、組合員ご家族皆さま、お一人お一人の営農努力によって被害は最小限となつた

ことに対し改めて敬意を表するところであります。

酪農情勢は、畜産クラスター事業による支援策等により酪農家の搾乳意欲を押し上げ、それを後押しするかのようにつく・育成・初任牛等の個体販売価格については、かつてない高値で推移しています。昨年十二月には生乳単価の価格改定があり、加工用原料乳補給金単価にあつては液状乳製品を含め十円五十六銭に一本化されました。これにより平成二九年度生乳補給金単価は二円以上増となり、買取り乳価の上昇分と合わせるためプル乳価は三円に近く上乘せとなる計算になります。また、配合飼料等生産資材は、輸出国の原料価格の引き下げがあつたものの、円安の影響を受け価格の上昇が懸念されています。当組合の側面的支援としては、良質粗飼料確保のため、草地植生改善対策として牧草種子の助成事業と生産基盤の維持拡大を目指し、乳牛導入助成事業及び生乳増産奨励事業等、今後も実施してまいります。また、停電対策として、PTO駆動発電機を四台導入し、緊急時に備えるなど今年も酪農生産基盤の拡充・強化、コントラクターの充実と効率化、外国人労働者による労働補完、育成センターの事業充実、生乳増産体制整備のため多面的支援をより一層進めてまいります。また、農協改革の原点は農業所得の向上にあることを再度認識し、生産資材等の価格の安定と低廉化を系統に対して強く求めてまいります。

地球規模で発生する温暖化による砂漠化による干ばつは、急速に農地を奪い、農業生産力を衰退させ、その国の経済の活力を奪い、やがては国内外の食糧供給均衡をくずし、脆弱で不安定な社会を生み出す原因となつていきます。このことから農業は経済の基本であり、生活基盤を支える根本と言えます。

その意味において、農業を守り発展させることは、地方地域の維持・振興につながり、安心・安全な食糧を継続的に国民に供給することこそ我々農業者にとつて「使命」であり「誇り」と言えます。そして、安心して営農に従事できるよう支援することは農協の重要な役割です。農協は自主・自立の組織として、財務の健全化を維持し、地域の農業を振興することに、組合員の営農と生活を守つてまいります。この思いは、協同組合の理念に立ち一寸たりともぶれることはありません。

今年の干支は酉年ですが、酉年には「素早く行動し、取り込む」という意味があるようです。また、犬と猿の間に入って中を取り持つ「仲裁をする」という意味もあります。農業も人と自然との共生を図り、その自然の力を取込むところに酉年と相通じるところがあります。自然を守り自然を育みながら、今年も五穀豊穡の秋を迎える事の出来る一年であることを心よりご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

酪農専門部会

代表	佐藤 直行
常勤	石丸 政雄
監事	高橋 淳
参事	井上伸一郎
職員	馬場 秀人 一同

ビート専門部会

部会	澤口 豊
副部会長	秋葉 宏之
〃	緑川 将仁
〃	遠藤 政宏
〃	阿部 光浩
部会	松浦 健治
副部会長	宮嶋 浩力
〃	岡村 貴幸

ブロッコリー専門部会

部会	平野 寿雄
副部会長	中川 雅元
〃	大河原正一

玉葱専門部会

部会	花木 慶喜
副部会長	井上 靖
〃	山田 忍

新しい年を迎えて

網走農業改良普及センター 遠軽支所 支所長 氏家 俊典



新年明けましておめでとうございます。平成二十九年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

平素より農業改良普及事業の推進に對しまして、農業者、関係機関の皆様には深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、昨年のJAえんゆう地域の気象と作況を振り返りますと、春は融雪期が平年より5日早く、は種・移植作業は順調なスタートを切る事ができました。特に5月は好天が続いた事から各作物とも生育が早まりました。しかしその後は気温の変化が激しく、多い降水量と日照不足から各作物とも平年並の生育状況に戻りました。また8月中旬以降は台風7号、11号、9号が相次いで北海道に上陸し、接近を含め多くの台風の影響から降水量はかなり多く、大きな気象災害が発生しました。また11月初めには約40cmの積雪となるなど変動の激しい気象となりました。秋まき小麦は、6月の低温により

出穂がばらつきましたが、登熟期間は47日間を確保でき、収量は平年を上回り、品質も平年並となりました。てん菜は、土壌水分が高い中での

は種（直播）・移植作業により一部は場場で活着の遅れや、直播では出芽の遅れやムラが見られました。また台風による大雨で浸水や滞水したほ場が多く、湿害による茎葉の黄化や根部の腐敗が発生し、根中糖分は低く収量も少ない結果となりました。

たまねぎは、葉先枯れが早く発生し、大雨による浸水や滞水による腐敗も多く発生しましたが、分肥や減肥対応、病害虫の適期防除により概ね球肥大は順調で、L大を中心に平年以上の収量が確保できました。

飼料用とうもろこしにおいても湿害を主因とする生育不良が見られ、草丈は平年より短く、また受粉時期の降雨の影響から雌穂に先端不稔が発生しました。その結果、生収量は平年並でしたが、雌穂の収量割合が低かったため乾物収量、TDN収量は減収となりました。

牧草は一番草はやや低収、二番草は多収となり、1、2番草を合わせると平年並の収量と品質が確保されました。

農業をめぐる情勢は、国外ではアメリカ大統領選の結果から環太平洋連携協定（TPP）の先行きが不透明となり、国内においても農業の競争力強化から農政改革を巡る議論が活発に行われるなど、今後当地域においても大きな影響が予想されます。この経営を取り巻く環境変化に対応するためには地域の皆様の繋がりをより強くするとともに地域全体で経営改善に取り組む事が重要です。

普及センターでは皆様が取り組む経営改善を支援するとともに、地域に担い手が残り、残れる農業の振興を目指し、積極的に活動を展開して行きますので、ご協力をよろしくお願ひします。最後にありますが、本年が豊穡の秋となり、ご家族の皆様がご健勝でありますことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

麦作専門部会

部会長 高柳 雅一
副部会長 城岡 和浩
" 前島 英樹

南瓜専門部会

部会長 高嶋 慎一
副部会長 松崎 一史

農機推進委員会

部会長 井上 実
副部会長 西塚 仁志
" 柳田 拓馬

えんゆう農協青年部

部会長 志鎌 英敏
副部会長 水野 暁
" 村田 康則

えんゆう農協女性部

部会長 新国 妙子
副部会長 松浦三代紀
" 長谷川美香



平成29年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 会長 飛田稔章



組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい平成29年の新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

昨年の北海道農業は、春先からの天候不順、8月中旬から相次いで上陸・接近した4つの台風の影響により、河川の氾濫、農地の流出、関連施設の損壊、停電による生乳廃棄など、全道各地で甚大な農業被害が発生しました。

現在もその傷跡は依然として深く残っており、復旧・復興に向けた懸命な努力が続けられているところであります。

今後とも、JAグループ北海道は、組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力

でサポートいたします。

また、全農改革を始めとする農協改革並びに指定生乳生産者団体制度のあり方を含めた農業競争力強化プログラムを取り纏め、次期米国大統領ドナルド・トランプ氏のTPP離脱・日米二国間交渉の表明、EUとのEPA交渉の動きなど、我が国の農業・JAにとって先行き不透明感が増大する情勢変化があった一年でした。

JAグループ北海道は、今後とも必要な農政運動や国民理解へ向けての情報発信、JA経営の基盤を強化し、組合員の皆様の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応を図って参ります。

さて、現在、JAグループ北海道は、第28回JA北海道大会のメインテーマである「北海道550万人と共に創る力強い農業と豊かな魅力ある農村」の実現に向けた決議事項に基づき、その着実な実践を図っているところです。

昨年はJAグループ北海道の実践

状況について、全体共有を図るとともに実践への機運を高め、JAグループ内外に実践状況を発信すべく、JA北海道大会実践フォーラムを開催致しました。

引き続き、JAグループ北海道の英知を結集し、北海道550万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指して参ります。関係各位の特段なるご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

一方、農業情勢では、世界規模での異常気象の発生、人口増加、経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は常に不安定な要因を抱えており、我が国として、先を見据えた中で食料自給率の確保などによる食料の安全保障体制をいかに確立していくかが問われています。

言うまでもなく、農業は、食料の安定供給という、国民生活に欠かすことができない極めて重要な役割を担っている生命産業であり、その役割は未来永劫変わることはありません。JAグループ北海道は、その責任

感と自負心のもと、あらためて協同と相互扶助の精神に立ち返った中で、現下のさまざまな課題を克服すべく、力を合わせていく時であります。さらに農業・JAに対する幅広い理解と共感を得るべく道民550万人サポーターづくりの取組みを積極的に進めながら、自己改革を加速させ、長年にわたり先人が築き上げてきた本道農業並びにJAの基盤をさらに発展させ、後世に継承できるよう努力して参ります。

結びになりますますが、今年の干支は丁酉（ひのととり）です。

一説には、丁は、「安定する」という意味があり、酉は「果実などが成熟し実る状態」を表しているとのことであります。

今年は、この酉年にあやかり、天候に恵まれ実り多い安定した一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶といたします。



新しい年を迎えて

J A えんゆう 青年部
部長 志 鎌 英 敏



新年あけましておめでとうござい
ます。

平成29年の新春を迎え、青年部員
ならびに農業関係者の皆様には心よ
りお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、例年より
多い積雪に雪解けが心配されました
が、春先の天候に恵まれ順調に農作
業を進められました。しかし、8月
中旬から北海道に9年ぶりとなる台
風7号の上陸を始め、続けて11号、
9号と観測史上初めてとなる3つの
台風の上陸により、農作物ならびに
飼料作物の収穫作業の遅れ、長雨の
影響での品質低下と収量減少が起こ
り、天候に振り回された一年だった
と存じます。台風被害にあわれた農
業者の皆様には改めて御見舞申し上
げます。

農業情勢については、昨年11月に
米国大統領選挙の結果、次期大統領
のTPP脱退表明により、TPPの
漂流化と日本政府の動向が注目され
る中、農業の現場を見ている性急
な農協改革案が突如出されるなど、
憂慮する情勢です。

しかし、このような状況下でも、
我々青年部は一致団結し、北海道農
業、日本農業を守る担い手として、

より良い農業の発展のために日々の
活動をおこなっていかねければと改
めて心に誓う次第です。

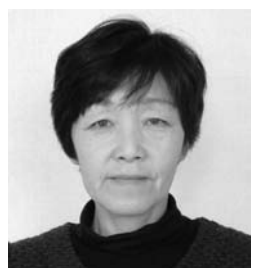
青年部活動では、例年実施してい
る町主催事業への協力参加、オホー
ツクJA青年部協議会、北海道農協
青年部協議会など上部団体事業への
参加、PR活動、上湧別小学校4年
生児童を対象とした農業体験学習な
ど色々な活動をおこなってきました。
各関係機関ならびに部員各位のご協
力により円滑に事業を進められたこ
とに厚くお礼申し上げます。

来年度は、農水省職員ファームス
テイ、JA青年の主張、農の魅力発
信コンテストなどが予定されており
ます。日々多忙のことと存じますが、
役員のみならず部員各位にご参加ご
協力をよろしくお願い申し上げます。
今後とも青年部活動を通じて、部員
相互の団結を深めて、積極的な事業
展開をはかり、個々の営農意欲の向
上と活気ある青年部作りに励んでい
きたいと存じます。

最後になりましたが、本年も各関
係機関および部員各位の一層のご支
援とご協力をお願い申し上げます。新
年のご挨拶とさせていただきます。

新年にあたり

J A えんゆう 女性部
部長 新 国 妙 子



新年あけましておめでとうござい
ます。

皆様におかれましては、ご家族で
輝かしい新年をお迎えられましたこ
とを心よりお慶び申し上げます。

日頃より女性部活動に対しまして、
組合員の皆様、ご家族、役職員の
方々のご理解とご協力をいただき深
くお礼申し上げます。

昨年8月の台風によって、農地や
農作物に甚大な被害が出たことに、
大変心が痛みます。かつて私も水害
を味わった経験があります。変わり
果てた畑やハウスに、主人と立ちつ
くした記憶が甦ります。時には大き
な恵みを与えてくれる自然は、ひと
たびその凶暴さにおののき、どこに
ぶつけることが出来ない怒りを覚え
ました。それでも私は、「農業をや
つてきてよかった」と思えるようにな
りました。それは、女性部との出
会いです。活動を中、気付いたの
は、楽しくなくては活動じゃないとい
うことです。

「禍福はあざなえる縄のごとし」
と言います。災いと幸は表裏一体で、

より合せた縄のように交互にやっ
てくるのです。やっかいで大変だと思
われる活動が思いも寄らない楽しい
活動に転化するときに、真の喜びが
湧いてきます。

そのためには、四の五の言わず行
動することです。人それぞれアクシ
ョンの起こし方に違いはありますが、
行動すれば必ず人との親しい交わり
が生れます。人も歩けば仲間が増え
ます。笑顔の仲間を増やすために
「行動ありき」です。「蝶を呼ぶな
ら花を育てよ」の言葉があります。
まず自らの手で種をまきましょう。
そして水をやり世話をしながら成長
し、笑顔の花を咲かせましょう。そ
んな素敵なのが女性部にはあるの
です。

昨今の農業は、先行き不透明です
が、こんな時代だからこそ、部員一
同、健康で豊かな気持ちで活動して
いきたいと考えております。
本年も組合員の皆様とご家族、役
職員の方々に、ご指導、ご協力のほ
どよろしくお願ひ申し上げます。
ご挨拶とさせていただきます。

一日皆貯金

当選者発表

吉田 勝江・花木 和治・鈴木 勝義	中西さおり・堀江 広義	大辻 等則・大熊 佳代・午来 浩幸	松田 瑞穂・斎野 恒範・草野まゆみ	天羽 利子・森谷 百花・前島 誠	斉藤 勝利・村田 美佳・小林 政彦	河村 貞夫・高柳 雅一・郡山 由香	平野 朋矢・福田ミツエ・国枝 照美	藤井 柊羽・小成 祐一・高谷まつ子	穴田 健二・福田 勤・井上 照夫	安本 博・林 光子・山田 明	山田 陽己・三品 結愛・奥田 進一	平野 郁実・森谷 宏幸・岩井 東子	平野 郁実・森谷 宏幸・岩井 東子	大村 明・益山 陽菜・野口 輝明	遠藤 咲里・佐々木良夫・林 恵美子	木村 勤・羽根田久子・小森 節子	奥山 敏子・石田 玲香・関口 昌子	松田 信一・水野 暁・加藤 知子	〇金賞 五千元 (十五名)	菅野 静枝・片岡 千ヤ・水野 恵子	木村 弘美・高栖 敏子	〇特賞 一万元 (五名)
-------------------	-------------	-------------------	-------------------	------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	------------------	----------------	-------------------	-------------------	-------------------	------------------	-------------------	------------------	-------------------	------------------	---------------	-------------------	-------------	--------------

羽根田不二夫・宮原 勉・菊地 瑞奈	平塚 道浩・斉藤美紀子・松田 大夢	高橋 恭子・坂野 作永・前島 英樹	岡崎 厚子・大江 稔・長屋めぐみ	竹中 勝子・秦野 英孝・佐藤 洋子	佐藤 寿美・松田 寛・狩野 邦子	大江 栄子・中山美智代・小原 敦子	山本 正・桜井フミ子・大和 真巳	石山 幸一・大田 恵子・遠藤 丈彦	渡辺ひろみ・和田 玲・菊地 啓一	名取 朋代・森 美月・清水 順子	加茂みどり・細川小夜子・平井千江子	須藤 正子・涌島 隆子・大川 悦朗	穴戸 久美・星 房子・鈴木 光枝	吉田 保子・岡村優美子・石田 玲子	国枝 稔・竹内 昭則・吉村 諄郎	村田 康則・鈴木 孝子・花木 静香	田島美代子・吉田 忠志・松原 栄子	吉村 邦彦・花木 彩音・三品 喜愛	林 正幸・福島 悠司・穴田 大知	岩瀬 昌俊・遠藤 真愛・森谷 龍暉	前川美代子・安藤 正男・國枝美代子	岡村美由紀・川村 寿光・柴田 一子	関口 淑子・長倉キミ子・福島 達也	花木ミエ子・吉野夕ツ子・平井 貴幸	紺野 藤子・服部美代子・工藤千恵子
-------------------	-------------------	-------------------	------------------	-------------------	------------------	-------------------	------------------	-------------------	------------------	------------------	-------------------	-------------------	------------------	-------------------	------------------	-------------------	-------------------	-------------------	------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

石丸 豊子・尾形 厚・加賀ミツ子
 稲田 雄斗・平山紀美江・佐藤 忠男
 山木 好明・高橋 正弘・佐藤 克哉
 松井 敏宏・辻本るり子・岩城 農場
 鴻上 信治・工藤 洋子・関東 悟
 片倉 和三・木村 律子・午来明日香
 関東アサ子
 (順不同・敬称略。お名前に誤字等ございましては、ご了承願います。)

当選された皆様、大変おめでとうございます。賞金につきましては、一月末日までに貯金口座に入金いたしますのでご確認ください。また、当選された方にはあらためて文書にてご通知申し上げます。

当JAは、今年も皆様のお役に立てる金融機関として貯金業務はもちろん相談業務充実をはかり、皆様のご利用をお待ち申し上げます。



一日皆貯金当選者抽選会の様子

貴重な意見要望が寄せられる 平成28年度秋季農事部懇談会

秋季農事部懇談会を、11月28日（12月7日）にかけて、23地区9会場で行った。

実施し、多くの組合員に出席していただき、懇談会では、今年度の作況、JA事業の進捗状況や今後の取組などを説明し、組合員からはJAに対する貴重な意見要望が寄せられました。



秋季農事部懇談会の様子

懇談会では、今年度の作況、JA事業の進捗状況や今後の取組などを説明し、組合員からはJAに対する貴重な意見要望が寄せられました。主な事項については、皆様にお知らせするとともに、理事会において十分検討し、今後の事業推進に反映させてまいります。なお、記載漏れや内容の不備があったときはご容赦願います。

秋季農事部懇談会の主な意見・要望

【営農関係】

1. 上湧別地区コントラクター車庫について新たに建設しないのか。
 ↳ 風害により破損したため建直しを検討したが、建築価格が大きくなり断念し、不要機械の整理をおこなうこととした。尚、本年度は全て従来の車庫に収納済み。
2. 廃トラクターなどの廃品回収業者を紹介願いたい。
 ↳ 旧機械センターと相談し、希望者に取扱業者を紹介したい。
3. 道営事業の実施の際は、対象農家への早めの連絡を願いたい。
 ↳ 決定後速やかに連絡出来るようにしたい。
4. 遠軽地区の全面コントラクター化を願いたい。
 ↳ 前向きに検討したいがオペレータ人員が不足している。生産者が出役する形での対応をお願いしたい。
5. コンビラップの増台を願いたい。

【金融関係】

1. 丸瀬布支所廃止による金融の対応について
 ↳ 次年度の利用状況および機械の消耗度合いを勘案し検討したい。
1. 酪農ヘルパーの申込ルールを整備してほしい。
 ↳ 申込をFAXに変更し、上湧別地区にて試験運営を12月受付から予定している。
2. 酪農ヘルパーは教育してから派遣願いたい。
 ↳ 研修先と十分に連絡を取りながら対応したい。
3. 酪農ヘルパーの数を増やしてほしい。
 ↳ 利用組合としても早くからハ口

ーワーク等に職員の募集をして
いるが見つからない。組合員の
皆様からの紹介もお願いいたし
たい。

4. 農協で運営する哺育育成預託事
業の拡充はいつ頃になるのか。
↓おおむね3年後を予定している。

【農産関係】

1. 乾燥施設建築により、運搬使用
の個人所有2t車はまだ必要か。
↓耕作者全員のトラックは必要と
しないが、サブで数台が必要と
なる。運搬のメインは業者委託
で取り進める。

2. なまぐさ黒穂病が発生したこと
により、小麦の品種は変わるの
か。
↓当面は現行品種の「きたほなみ」。

3. 新品種はまだ改良が必要との事。
加工南瓜の早期受入対応により、
処理を前倒し出来ないか。
↓適した期間風乾することによっ
て、南瓜の痛みをおさえてほし
い。

4. 加工南瓜の受入原料価格を再考
願いたい。

↓販売業者・買入業者と協議をし、
今後検討していきたい。

【秋季農事部懇談会出席者】

	午 前	午 後
11月28日 (月)	屯市・5の2・5の3 21名	富美・上富美 13名
11月29日 (火)	開盛・札富美・旭 6名	
12月3日 (土)	4の1・4の2 23名	4の3・5の1 23名
12月6日 (火)		生田原 11名
12月7日 (水)	丸瀬布・白滝 14名	遠軽 18名
合計 129名		

出会い、暮らし、思い出。そして、別れ・・・。

人生最後の葬祭の儀式。

それは故人の哀悼の念を捧げる厳粛な場ではなくてはなりません。

えんがる斎場は、突然に訪れた予告のない儀式をつつがなく執り行うため、悲しみに暮れるご遺族に、最良の方法と、こまやかな心くばりでご奉仕いたします。

個人葬をはじめ、多くのご会葬の方々をお迎えする大規模な社葬、団体葬など、宗教・宗派を問わず、最新の設備で、葬祭に関するすべてのことをお手伝いさせていただきます。



〒099-0401 北海道紋別郡遠軽町学田2丁目6番地1

TEL (0158) 42-9898

FAX (0158) 42-9933

ストレッチヨガでリフレッシュ JA上湧別地区女性部研修会

JA上湧別地区女性部は、研修会を上湧別農村センター研修室で12月2日に開催し、参加部員30名が日頃の農作業で疲れた身体のケアを目的にヘルスアップ・ヨガ・カンパニー（北見市）の宮本則子先生の指導を受けながら、ストレッチヨガに取り組みました。

先月のフレッシュユミズ研修会で若い部員の皆さんからの「良かった」という評判を聞いて、楽しみにしていた研修でした。

まず、最初はストレッチから始まり、身体の筋をゆつくりと伸ばしていき、次第にヨガに変わっていくメニューで、



研修会の様子

固まった身体に苦闘する部員もいましたが、90分間の研修で心身のリフレッシュを図ることが出来ました。部員の皆さんも腰や肩が軽くなったとの話が多く出て有意義な研修とすることが出来ました。

美肌を保つ秘訣を学ぶ 女性部フレッシュユミズ合同研修会

JA女性部フレッシュユミズは、11月28日にJA本所で合同研修会を開催し、部員19名で資生堂ジャパン株式会社北見オフィスでメーカーキャップアーティストの今野康子さんを招いて、「美肌の秋！ワンランク上の美肌を保つスペシャルケア」を研修で学びました。

若くて活発なフレッシュユミズ部員も日頃、多忙な日々を過ごし、屋外での農作業も多いことから肌荒れが気になることもあり、今回の研修となりましたが、今野さんから肌が荒れる原因やそのケアなど、様々な秘訣を学ぶことができ、あわせて



合同研修会の様子

メイクをする上でのコツなども学べて、大変なことになる研修となりました。今後フレッシュユミズでは、様々な企画を合同研修会でおこなっていきたいと思いますので、多くの参加よろしくお願ひ申し上げます。

突然やってくる災害への対策を学ぶ フレッシュユミズ一泊研修

JA女性部フレッシュユミズは、毎年恒例の一泊研修を12月12日～13日にかけて開催し、今年は参加部員8名が札幌市民防災センター（札幌市白石区）で研修をおこないました。

今回、実際に消火模擬体験や風速30m/sの暴風を体験してきました。消火体験では実際に消火器を使って目標となる的に消火液の代わりに入っている水を的にかけるのをやりましたが、思った以上に的に向かってかけるのは難しく、また一般的に暴風と呼ばれる風速30m/sの風はやつと立てている状態を体験することが出来て、わかっているような状態でわかっている防火防災を貴重な模擬体験を通じて学ぶことが出来ました。



説明を受ける部員の皆さん

研修を終えたあとは、みんなで美味しい食事と楽しいおしゃべりの一時を楽しみ、翌日は札幌市内で買い物などを満喫して、有意義なうちに研修を終えることが出来ました。

西塚仁志部員がアームレスリング大会で準優勝 全道JA青年部大会

12月1日～2日、全道各地のJA青年部が集う

第85回全道JA青年部大会が札幌市内のホテルでJAえんゆう青年部員他13名を含む全道の若手農家他850人を集めて開催され、「地域の未来を育む事業へ」と「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現へ」の2点を掲げる大会宣言、そしてT P P（環太平洋経済連携協定）交渉が10月に大筋合意に至ったことを受けた「自らが創造する農政新時代の確立を目指す特別決議」を満場の拍手で採択し、

2日間の大会を終えてきました。

大会1日目に、青年の主張大会や青年部活動実績発表大会、分科会を見聞して見識を深め、全体懇親会で開催された道青協会長杯アームレスリング大会に、11月の管内大会で優勝し、オホーツク代表になった遠軽町社名淵の西塚仁志部員が参加し、全道の腕力自慢の盟友相手に奮戦し、決勝で空知地区代表の渋谷栄太郎さん（JAびばい青年部）に敗れましたが、準優勝に輝きました。

大会2日目は、基調講演で「あぐり王国北海道

道青協会長杯アームレスリング大会で準優勝した遠軽町社名淵の西塚仁志部員

NEXT」の司会役で出演しているHBCアナウンサーの金井かないあきがさんが、あぐり王国北海道NEXTを通じて感じたことを拝聴しました。東京出身の金井さんが、番組を担当して8カ月の間に北海道農業との触れ合いで感じた農業の魅力や素晴らしさを楽しいエピソードを交えながら話していたとき、自分たちも気付いていない農業の素晴らしさを教えてもらい、農業に対する思いを新たにしたい、大会の参加を終えることが出来ました。

今後の乳牛改良の方向性を学ぶ 青年部酪農専門部視察研修

JA青年部酪農専門部は、11月22日～23日にかけて恒例行事の視察研修を開催し、参加部員8名で一般社団法人ジェネティクス北海道道央地域事業所（北広島市）を訪れて、今後の乳牛改良の方向性について学んできました。

今回、共進会等でも審査をする業務課の松田亮介氏に講師を務めていただき、日本の乳牛改良の現状と今後の乳牛改良の方向性など、内容の濃い話をうかがった後、デイスカッションをおこないました。部員か



講習を受ける部員の皆さん

らの現場での様々な疑問などにもわかりやすく答えていただき、有意義な研修とすることが出来ました。研修を終えたあとは、宿を取った札幌に移動し、会食の席では部員お互いの親睦を深めて、視察研修を終えました。

来年の玉ねぎ栽培に向けて今年を振り返る 上湧別玉葱振興会青年部勉強会

上湧別玉葱振興会青年部は、12月19日にJA本所で勉強会を開催し、今年の玉ねぎ栽培で部員がおこなった早期収穫・出荷試験の結果発表と考察、網走農業改良普及センター遠軽支所から平成28年度玉ねぎ生育状況、ホクレン北見支所青果課から日本国内の玉ねぎの流通状況と課題について、それぞれ講義を受けました。最初に今年おこなった早期収穫・



勉強会の様子

出荷試験結果について担当部員が発表し、その結果と考察をみんなで議論しました。活発に意見を交わさせて、今後の玉ねぎ栽培に向けて知識を共有するとともに、手応えを感じたようでした。

続いて、網走農業改良普及センター遠軽支所の伊東主査から「平成28年の生育状況をうかがいました。今年は8月から台風続きだったため、圃場間差や個人差が大きい年であり、今後は排水対策や輪作の実施、また、多雨で排水性が良い圃場では肥料抜けの傾向が見られたことから、単に肥料を増やすのではなく分肥体系を考えていって欲しい」との話がありました。

最後にホクレン北見支所青果課の野田氏より、日本国内の玉ねぎの流通状況と課題、系統組織の取り組みについて話をうかがい、部員相互で積極的な意見交換して、有意義な勉強会とすることが出来ました。

【連載】今こそJA! ~その意義と役割~ 第4回 ライフアイゼンの農村信用組合

ドイツではイギリスよりも少し遅れて産業革命が起こりました。やがてドイツの農村にも貨幣経済の波が押し寄せ、商人の収奪が横行する中、資金を年率100%という法外な金利で貸し付ける「高利貸し」に頼らざるを得ない状況となり、さらにこれとあわせて凶作が発生するといった悪循環に陥っていました。

こうした惨状を目の当たりにしたライフアイゼンは、すでに富裕者の寄付を仰ぎ、慈善組合を作って困っている人に食糧を与えたり貸付を行ったりしましたが、すぐに事業は行き詰まってしまいました。ライフアイゼンは失敗した原因を考えた結果、人に頼り切るのではなく、何よりも自助の精神が基本になければならないと悟ったのです。こうしてライフアイゼンは1862年に初めての農村信用組合を作りました。

この農村信用組合は高利貸しに対抗するための仕組みと

して、組合員相互が無限責任を負う（他の組合員の負債を連帯保証すること）で信用力を高めながら、金融業者からまとめて金を借りて、それを組合員同士で低利で融資するものでした。その後、ライフアイゼンの農村信用組合は信用事業だけでなく、販売事業や購買事業も行うようになったのです。

こうした信用事業を核とした総合事業の発想は日本の産業組合、現在の農業協同組合のモデルになったといわれています。ライフアイゼンが引用したといわれる「一人は万人のために、万人は一人のために」という言葉は今も生き続けているのです。



*2 F.W. ライフアイゼン (1818~1888年) ドイツの農村信用組合の創始に尽力した。

J Aグループ通信

J Aグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

J A北海道大会決議事項の実践やその時々
のトピックスなど、組合員の皆様に定期的
にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイ
トをご覧ください。

J A北海道中央会



HBCラジオ「秋の恵みに感謝カンゲキ！
北海道農業応援スペシャル!!」(11月3日)を
通して、農業の魅力を一日中発信し続けま
した。

寄せられたメッセージは4、566件。内
田副会長がグリーンツーリズム等についてお
話をされた、カーナビラジオ公開生放送には
のべ400名が来場と、大盛況。

スマートフォンアプリ「JA2MP」では、
道内の生産者や直売所を巡る
中継キャラバン等の期間限定
お宝画像も発信。地域との繋
がりを感じられるサポーター
550万人づくりへの貴重な
一日となりました。



J A北海道信連



11月に農業経営者支援の一環として「農業
経営フォーラム」を開催。

「あぐり王国」の森崎博之氏が所属する株
クリエイティブオフィスキュー 鈴木代表に
「道内農業の魅力の再発見と発信」を、学習
院女子大学 江口名誉教授に「道内農業に求
められるマーケティング発想」
を講演頂き、参加者からは「農
業経営のヒントを得た」「農業の
魅力を探求する姿に感銘を受け
た」等好評を頂きました。



ホクレン



全道のホクレンSSで平成28年7月～9月
に展開した「2016『ラブ&ハート』チャ
リティキャンペーン」に寄せられた募金と一
部売上の、総額300万円を北海道社会福祉
協議会へ寄託しました。今年で35回目の当キ
ャンペーンは、社会貢献活動
「ホクレンシーズプロジェクト」
の一環。道内約780の
児童保育施設に、絵本や文学
書の購入費用としてご利用い
た、できます。



J A共済連北海道

生命共済と傷害共済で、入院・通院共済金
をご請求していただく場合、診断書取得・提
出をいただいておりますが、所定の条件を満
たせば「治療報告書制度」による自己申告と
領収書提出のみで共済金をご請求いただけま
す。

病院で診断書を取得する手間や費用負担も
無くなり、共済金ご請求までの時間が短縮で
きるメリットがございますのでご利用くださ
い。ご利用条件については、ご加入先のJ A
へお問い合わせください。

J A北海道厚生連



平日に時間がとれない方へ、完全予約制の
土曜日健診を開始しました。

【旭川】毎月第2・4土曜「土曜ドック」を
実施。(男性対象・各種オプション検査可能)
随時予約受付中ですので、お電話でお問い合
わせください。(☎0166-337171)

【札幌】毎月第2土曜に「膝臓・胆のうドッ
ク」を実施中。(☎011-251-5713)

【帯広】オプション検査「脳ドック」を平成
29年1月より毎月第2土曜に実施いたします。
(☎0155-244161)

**JA北海道大会実践フォーラム
パネルディスカッション
テーマ「道民と食と農でつながる
サポーター550万人づくりに向けて」**

「道民と食と農でつながるサポーター550万人づくりに向けて」と題したパネルディスカッションの内容を3回シリーズでご紹介します。



宮入 隆 氏
北海道大学 教授

宮入です。550万人サポーターづくりは、チャレンジングなテーマですが、既に色々な取組みがあります。それをどう見せるか、どこから手を付けるか、今日はそのヒントを見出しければと思います。

早速ですが、今日ご参加頂くパネリストの皆さんに自己紹介と今日の意気込みをお話し頂きます。

河野 真也 氏
タレント



オクラホマというコンビで活動している河野真也と申します。僕はあぐり王国北海道という番組の取材経験から得た、一般の方よりは農家さんに近い目線、また1歳の息子がいる父親の目線でもお話ししたいと思います。

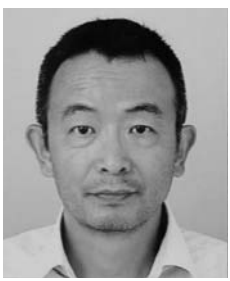
大阪出身の僕は、「北海道が素晴らしいということに地元の人が気付いていないのでは」という意味で「道産子は道産子であることであぐらをかいている」と言い続けています。そんな道外から見た北海道という点にも意見したいと思います。今日は頑張りますのでよろしくお願ひします。

高橋 さやか 氏
食育フリーマガジン
mogmag 編集長



「mogmag」というフリーマガジンを発行している高橋と申します。この冊子はレシピを中心に生産者の情報や、旬の食材、子どもと食に関するお悩み等を載せた、ママ向けの食育情報誌です。本日は消費者の一人として、また3歳の娘のママとしての目線で色々お話しできればと思いますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

森川 純 氏
北海道新聞社 論説委員



北海道新聞の森川と言います。まず私の中で、もやしているPPPの話を最初にしたと思います。PPPの問題に全国の農業団体が反対運動を繰り広げた後、強引な農協改革を迫られました。政府の姿勢は問題ですが、その後、中央会が反対の看板を下ろしたことに私は、はしごを外された

思いです。とは言い政府への意見は別としても、消費者を意識して農産物をつくり、売ることは大事であり、それが北海道の産業の発展に繋がります。地域を支えたいと思います。その意味で建設的な議論に加わりたく思います。

高橋 優 氏
JAきたみらい 常務理事
(事例発表者)



JAきたみらいの高橋でございます。本日のパネリストの皆様は、さまざまな立場の方々ですので、JAグループ内から見えない、外側からの発想に基づき貴重なご意見があると思います。私どもは、ご意見を吸収してそれを行動に移したいという思いで参加させて頂きました。よろしくお願ひいたします。

高橋 和則 氏
JA北海道中央会 総合企画部長



中央会総合企画部の高橋と申します。私どもの部署は大会決議の実践に向けた組織の事務局、サポーターづくりにも繋がるテレビ番組「あぐり王国」の制作、さらにスマホアプリ「JA2MP」の開発も担当しております。本日はよろしくお願ひします。

宮入教授 それでは、きたみらいの事例を参考にしながら、各々思ったことをお聞かせ頂きたいです。

河野氏 事例の内容やホームページを見て、こんなに色んなことをやっているのかと驚きました。同時に、今まで知らなかったなと思ったんですよね。ちなみに高橋常務、ホームページとフェイスブック以外には何かやられているのですか。



高橋常務 あとは先程ご紹介させて頂いたコミュニケーション誌を、年に3回発行しております。

河野氏 なるほど。サポーターになってもうたぬめ550万人の道民に向けてやるのはもちろんですが、その上で僕がいいなと思うのは、道外のファンをつくる取組みです。僕は先程「道産子は道産子であることであぐらをかいている」と言いましたが、僕は北海道に来て野菜の美味しさに驚きました。普通に売られている野菜が美味しいのですが、北海道の人にとっては美味しくって安心安全なもの当たり前です。当たり前と思っているものの良さに気付かせることは中々難しいと思います。だから道外のファンを増やして、そこが盛り上がることで、北海道の人にも、北海道って

すごいね、自分達も応援しなきゃと思わせるような取組みも必要だと思いました。

宮入教授 たくさん取り組んでおられるけれども知られていないという点は、これは今日のディスカッションの中でも一番求められている課題だと思います。それでは続いて、高橋さんお願いします。

高橋さやか氏 今は何でもスーパーで手に入る時代ですので、生の体験で食への意識が変わると思います。また、私も先程の事例発表で初めて、色々な取組みを知ったので、情報が届かない現状を感じました。

例えば、50代の会社員と30代のママとでは見るものや求める情報も違うので、伝える相手や起こして欲しい行動に応じて情報発信を工夫する必要があります。



宮入教授 実際、フリーマガジンで情報発信をする橋さんの立場で、具体的な情報の流し方に関するアイデアがあれば教えて頂ければと思うのですが。

高橋さやか氏 例えば会社員なら新聞がメインだと思いますが、子育て中のママならやっぱり児童

会館での口コミや、SNSですよ。相手によって伝え方を工夫していくのは大事だと思います。

宮入教授 地域には多様な年齢層、考え方がいらっしやると思いますが、高橋常務が実際現場で取り組まれている伝え方の工夫はございますか。



高橋常務 誰に伝えるかという点が多々あります。これからは伝える相手が誰か、そして伝え方の工夫も必要と感じました。情報はインターネットや広報誌でも伝えていますが、直接人が向き伝える活動もしています。例えば鹿児島は、豆を多く食べる地域であり、生産組織の皆さんによる現地での販売も行っております。これも初めて分かったことなので、人が向く活動は増やしたいと感じます。(次号に続く)



賀正

昨年中はご愛顧を賜り
厚く御礼申し上げます。
本年も旧に倍しての御愛顧の程
宜しくお願い申し上げます。
社員一同、皆様の御用命を
心よりお待ち申し上げます。
平成二十九年 元旦

(株)ジエーエーえんゆう
燃料事業部
農機・整備事業部
エコープ事業部

平成29年度 営農計画書作成協議日程

本所(会場：本所 会議室)・遠軽地区(会場：遠軽支所 大会議室)

日程	曜日	午前9時～午後12時	午後1時30分～午後4時
1月17日	火	札富美・開盛	旭
1月18日	水	上富美	富美
1月19日	木	北兵村二区・三区	南兵村一区
1月23日	月	北兵村一区	
1月24日	火	屯田市街地	南兵村三区
1月25日	水	南兵村二区	
		千代田・社名淵・美山・留岡・若松・ <u>丸瀬布地区</u>	
1月26日	木	学田・向遠軽・豊里・清川	
1月27日	金	栄野・湯の里・瀬戸瀬・若咲内	

※協議日程の都合が悪い方は、別会場・別時間でも参加可能です。
但し、別会場希望の方は、事前に担当者までご連絡お願い致します。
尚、日程が変更になる場合は、都度連絡申し上げます。

※丸瀬布地区は今年度より会場が遠軽支所に変更となります。

●白滝・生田原地区につきましては、1月10日以降、個別にご連絡させていただきます。